



# 川の生きもの かいせつ

# 植物 (しょくぶつ)

**しっせい 湿生植物**  
クサヨシ、ツルヨシ、ミソソバなど

**ちゅうすい 抽水植物**  
ヨシ、ヒメガマ、ガマなど

ここからは、水辺の生きものを紹介するよ。植物は、エサやかくれ家になって、ボクたちの生活を支えているんだ。



カワセミ

**あふよう 浮葉植物**  
オオフサモなど

**ふすい 浮水植物**  
ホテイアオイなど



かんさつ道具

**ちんすい 沈水植物**  
オオカナダモ、エビモなど

**湿生植物 (しっせい)**：水分の多い土に生育します。水際に多く、ヤナギなどの木も含まれます。

**抽水植物 (ちゅうすい)**：水底の土に根をのばし、茎や葉を水面から出しています。大型のヨシ類をはじめ、小さなイグサ類など、多くの種類が見られます。

**浮葉植物 (あふよう)**：水底の土に根をのばし、茎や葉を水面に浮かべています。流れが速い川には、あまり見られません。

**浮水植物 (ふすい)**：水底に根をはらず、水面をただよっています。たくさん増えて、水面をおおってしまうこともあります。

**沈水植物 (ちんすい)**：水底に根をのばし、茎も葉も水中に沈んでいます。魚類やエビ・カニ類のかくれ家になります。

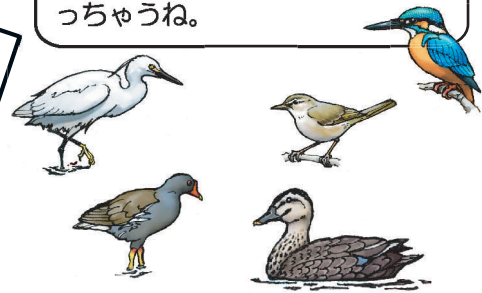


# 鳥類 (ちょうるい)

ボクたち鳥類は、魚や昆虫、植物など、他の生きものたちを食べて生きているんだ。かれらがいなくなったら、ボクたちも住めなくなっちゃうね。



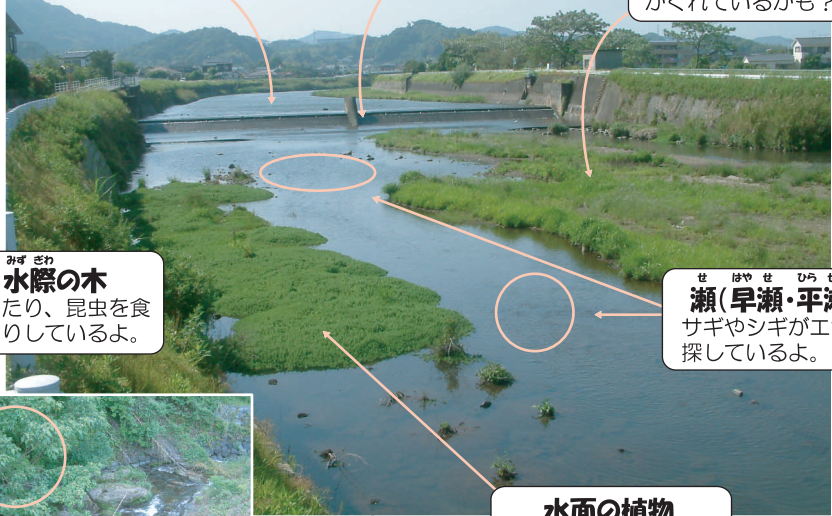
かんさつ道具



**あち 淵**  
カモが羽を休めたり、カイツブリがエサを探しているよ。

**せき 堰**  
浅いところで、サギやシギがエサを探しているよ。

**なかつ 中洲**  
休んでいたたり、ジッとかくれているかも？



**みづぎわ 水際の木**  
鳴いたり、昆虫を食べたりしているよ。

**せきばせ 瀬 (早瀬・平瀬)**  
サギやシギがエサを探しているよ。



**岩の上**  
まわりを見ているよ。

**水面の植物**  
かくれていたたり、エサを探しているよ。

## 留鳥と渡り鳥

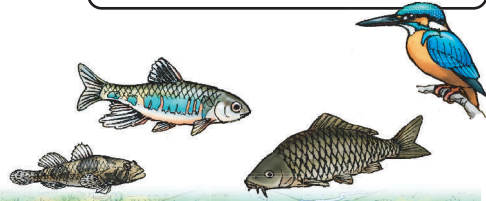
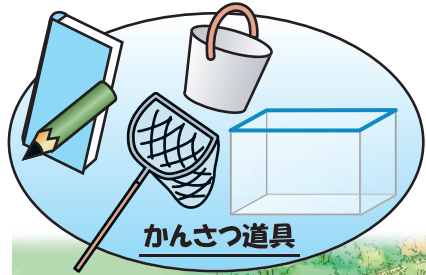
ボクはヒドリガモ (冬鳥)。鹿児島市では、冬に会えるよ。

- 留鳥 (りゅうちょう)：一年中見られる鳥
- 渡り鳥 (わたりどり)：春と秋で、北や南に移動する鳥
  - 冬鳥 (ふゆどり)：秋に、北から越冬のために来る鳥
  - 夏鳥 (なつどり)：夏に南から子育てのために来る鳥
  - 旅鳥 (たびどり)：渡りのとちゅう、休むために立ちよる鳥



# 魚類 (ぎょりい)

魚類はボクの<sup>だいこうぶつ</sup>大好物だよ。かれらは、川の深さや流れの速さ、植物のある・なしで、いろいろな場所にすみ分けているよ。



## 小川、水路

浅い、流れがおどい  
ギンナ、タカハヤ  
メダカなど

## 淵

深い、流れがおどい  
コイ、ギンナ  
カワムツ、ナマス  
など

## 早瀬

浅い、流れが速い  
オイカワ、アユ  
ヨシノボリのなまこ  
など

## 止水、水際植物

浅い、流れがおどい  
魚の子ども  
(稚魚や幼魚)

## 穴の中や石の間

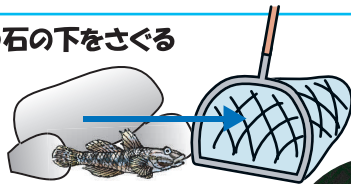
(流れがおどい)  
ウナギ、ナマス  
ドンコなど

## 魚類のとり方

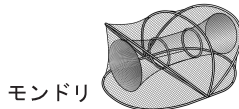
### ●植物から追い出す



### ●石の下をさぐる

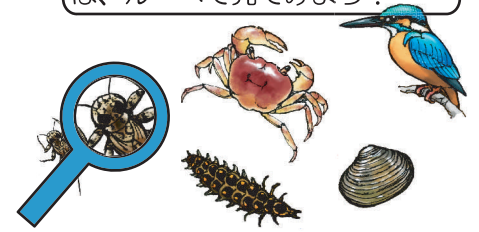


### ●わなをしかける



# 底生動物 (ていせいどうぶつ)

「底生動物」って知ってる？  
川の石の表面にいたり、砂にもぐっている昆虫や貝、エビ、カニなどのことだよ。小さいものは、ルーペで見よう！



## 底生動物の種類から、水のきれいさがわかるよ！

じっさいの  
大きさ

### きれいな水にすむ生きもの



- ・ウズムシ
- ・サワガニ
- ・ヘビトンボなど

### 少しきたない水にすむ生きもの



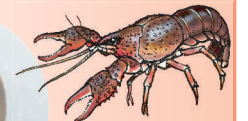
- ・ゲンジボタル
- ・イシマキガイ
- ・コガタシマ  
トビケラなど

### きたない水にすむ生きもの



- ・ヒル
- ・タイコウチなど

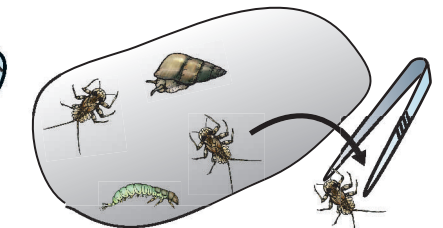
### たいへんきたない水にすむ生きもの



- ・チョウバエ
- ・セスジユスリカ
- ・エラミミズなど

『川の生きものをしらべよう』（発行：(社)日本水環境学会・2006）より抜粋

## 底生動物のとり方



●魚のとり方と同じ  
だけど、目の細かい  
アミがいいよ。

※底生動物は小さいので、石にくっ  
いているものはピンセットで取るか、  
歯ブラシで軽くこする。



## 川に行くときは・・・



川や水辺で遊ぶときは、いくつかルールがあります。このルールを守って、ケガのないように楽しく遊んで下さい。

### その1 川に行くまえに

- ★てんき よほう天気予報を見よう。雨が降るとき、降った後は川の水が増えるので、近づいてはいけません。
- ★かんさつ道具かくにん ぼうしを確認する。帽子は持ったかな？
- ★す あし素足やサンダルではなくて、くつや長ぐつをはこう。
- ★大人といっしょに行こう。

### その2 川では

- ★水の中では、ふざけないようにしよう。
- ★ひざより深いところには近づかないようにしよう。立ち入り禁止の場所にも入ってはいけません。
- ★ハチやヘビなどは、できるだけはなれてかんさつしよう。
- ★てんねん きねん生きものは、むやみに持ち帰らないようにしよう。天然記念物ぶつ とくていがいらいせいぶつや特定外来生物は持ち帰ってはいけません。
- ★ゴミは持ち帰ろう。

### その3 川から帰ったら

- ★持ち帰った生きもののすみかを、先につくってあげよう。
- ★手洗い、うがいをしっかりしよう。
- ★わすれないうちに、日記や記録をつけておこう。
- ★せきにん生きものは、責任を持って育てよう。

よろしくね!



## 2. 川にすむ 生きものたち

川には、たくさんの生きものたちが住んでいます  
生きものたちは、それぞれが選んだ環境に住み、他の生きものたちと関わりを持ちながら生きています

このような営みを、まとめて「生態系」と言います

ここでは、平成22年度に行われた鹿児島市内9河川の生物調査で確認された、  
たくさんの生きものたちの一部を紹介します

